

# 第1章 緑化の基本方針



## (2) 芝と親しみ、スポーツを楽しむ機会の増大

芝生は、美しい暮らしの空間を創出するために有効であるとともに、自然教育やスポーツの振興、ヒートアイランド現象の抑制等、様々な効果をもたらします。

しかし、芝生の維持管理は手間と費用が掛かるとの先入観から、これまで普及が進んでいませんでした。そこで、県では研究開発により、園庭・校庭に適した芝種の選定と簡易な維持管理方法を国内で初めて確立し、普及拡大へのきっかけづくりを行いました。今後は、適切な維持管理が図られるための各施設内の体制づくりを支援しながら、県内に芝生地を拡大していきます。

また、公共施設や民間の敷地にも芝生を普及し、美しい緑のまち並み景観を目指すとともに、サッカー場などスポーツ広場にも天然芝を広げ、多くの県民が芝生の上でスポーツを楽しむ機会を増やしていきます。



修善寺保育園(伊豆市)



清水町立南幼稚園



県立島田工業高校

### 「芝生文化創造プロジェクト」

「芝生文化創造プロジェクト」とは、静岡県が芝生のメッカとなり、教育・文化の場のみならず、スポーツ、暮らしの分野においても、県民にとって身近で使いやすい芝生地を拡大していくことを目指すものです。

芝生文化創造プロジェクトは、芝草研究所による研究とグリーンバンクなどによる普及活動の両輪により推進していきます。研究では、スポーツでの使用に耐えるものや日陰でも育成しやすいもの、長い期間常緑性を維持するものなど、用途に応じた芝種の選定を行い、用途に応じた管理手法を確立していきます。

普及では、県内すべての市町で、複数の園庭・校庭や運動公園への導入を推進するとともに、多くの企業で芝生地を導入するよう促進します。

人材育成では、地域での芝生の導入及び適正な管理が進むように、芝生アドバイザーの育成を進めます。

## ア. 芝と触れ合う学びの場づくり

園庭・校庭に芝生を普及し、適切な維持管理を推進します。

### 施策方針

- 学校施設において芝生を普及し、子供たちが芝生のある園庭・校庭で学び、体を動かす機会を増やしていきます。

### 具体的な取組

- 学校等での芝生の設置を促進するため、園庭・校庭に適した芝種とポット苗方式による簡易な設置方法を普及します。
- 芝生アドバイザーを学校に派遣し、適切な維持管理に向けた助言・指導を行います。
- 設置した芝生の育成を継続するために、学校等と地域が連携した維持管理体制の構築を支援します。

### 所管窓口

- 環境ふれあい課  芝草研究所  教育委員会  静岡県グリーンバンク  学校

### しずおか校庭芝生化応援団

「しずおか校庭芝生化応援団」は、清水エスパルス、地元企業、NPO等により構成され(事務局：静岡県地球温暖化防止活動推進センター)、平成21年から県内各地の小学校、幼稚園・保育園、施設などの校庭・園庭等を芝生化することを支援しています。

活動は、エスパルス三保グラウンドの芝生整備作業の際に発生する親指ほどの小さな株(コア)を活用したポット苗づくりからはじまり、県内各地の施設などでの植え付け作業の支援や、その後の維持管理に関わる技術的アドバイスなど、広範囲にわたります。

平成29年度までに手掛けた芝生地は県内に計51箇所となりました。



芝生ひらきイベント(清水みらい保育園)



ポット苗作成

### ポット苗方式

芝生の施工の方法には、ポット苗での植え付け、ソッド(板状の切芝)による施工、種子の直接播種などがありますが、ポット苗を50cm間隔で植え付ける方法が、他の方法に比べ管理が簡易で経済的です。

園庭・校庭に適した芝種が特に勢い良く生育する期間は6~8月頃で、この期間に植え付ければ、1~2ヶ月で芝生になります。



植栽



1ヵ月後



3ヵ月後

# 第1章 緑化の基本方針



## イ. 芝生アドバイザーの育成と指導者派遣

芝生の専門家を育成し、地域のニーズに合わせて、アドバイスをする仕組みをつくります。

### 施策方針

- 設置した芝生の適切な維持管理のために、芝生の専門家を育成し、芝生アドバイザーとして認定した上で、支援や指導が必要な地域に派遣します。

### 具体的な取組

- 初心者でも芝生の管理ができるように、基礎知識を学ぶ芝生教室を開催します。
- 芝生の育成・管理に関して専門的な指導ができる人材を育成する芝生管理講座を開催します。
- 芝生管理講座の修了生や造園業などの専門家を、芝生アドバイザーとして認定し、人材バンクに登録します。
- 芝生の育成・管理に関するニーズに対応して、芝生アドバイザーを地域に派遣し、適切なアドバイスを行う仕組みをつくります。



芝生管理講座

### 所管窓口

- 環境ふれあい課  芝草研究所  静岡県グリーンバンク
- 静岡県造園緑化協会

## ウ. 緑まぶしいまち並みづくり

企業の敷地などまち並みへの芝生の普及と、屋上の緑化を進めます。

### 施策方針

- まち並み景観を形成する企業の建物や敷地に、芝生を普及します。

### 具体的な取組

- 民間企業に対し、芝生教室や芝生管理講座への参加を促し、まち並みへの芝生の普及を進めます。
- 工場緑化ガイドラインの活用や緑化セミナー開催により、地域の自然環境や景観に合う、質の高い工場緑化を促進します。
- 優れた工場緑化の取組を行う企業を国の表彰に推薦し、普及啓発を図ります。



工場緑化の優良事例  
(株式会社三共製作所静岡工場)

### 所管窓口

- 企業立地推進課  静岡県グリーンバンク

## 工場緑化の取組

焼津市に立地するサッポロビール株式会社静岡工場では、昭和55年の工場新設時から積極的に工場緑化に取り組み、地域の自然環境との調和や地域社会との共生を大切にする工場づくりを目指し、自然のままの雰囲気が損なわれないような緑地管理を実施しています。



サッポロビール株式会社静岡工場の工場緑化



平成10年には社員自らが手づくりで整備したビオトープ園を一般開放しています。園内には小川が流れ、野生の動植物が自然繁殖し成長できる生態系ができあがっており、今では年間50種類の野鳥が飛来するほか、タヌキやメダカなどが生息しています。

また、ビオトープ園は、地元住民の散策や憩いの場となっているほか、地元の小中学校等に開放し、環境教育の場としても活用されています。さらに、地元の地域団体「やきつべの里フォーラム」や「焼津水産高校」と共に生物多様性調査を行い、地域社会に密着した環境保全活動を行っています。

同工場は、これまでの継続的な取組が評価され、平成25年に緑化優良工場の経済産業大臣表彰を受賞しています。

## エ. 芝が輝くスポーツ・集いの場づくり

ハードな踏み締めに耐えうるスポーツターフの開発を進めます。

運動公園やスポーツ広場等への芝生の普及と、適切な維持管理を推進します。

### 施策方針

- スポーツ産業と芝生産業の成長のため、ハードな踏み締めに耐えうるスポーツターフを開発し、普及します。
- 多くの県民が、身近な地域で、スポーツに親しむことのできる環境づくりを進めるため、運動公園やスポーツ広場等への芝生の普及を進め、既存の芝生は適切な維持管理を実施します。



静岡県草薙総合運動場(静岡市)

### 具体的な取組

- 芝草研究所は、民間企業との共同開発等の方式なども視野に入れながら、スポーツターフの研究・開発を行います。
- 県民が気軽にスポーツを楽しめるよう、市町やスポーツ団体と協力しながら、市民グラウンドや運動公園、スポーツ広場などへの芝生の普及を進めます。
- 芝生の育成・管理に関するニーズに対応して、芝生アドバイザーを地域に派遣し、適切なアドバイスを行う仕組みをつくります。
- 県営都市公園内の多目的競技場等の運動施設において、芝生の維持管理を適切に行います。

### 所管窓口

- 環境ふれあい課  公園緑地課  芝草研究所  静岡県グリーンバンク  静岡県造園緑化協会  市町